

先日、うちの教会のキャンプが3年ぶりに開催されました！世の中の情勢を見ると果たして大丈夫だろうか…と少々心配しつつも、祈って祈って迎えたキャンプ。なんと曇りor雨マークもあった天気予報は見事に外れ、ずっと晴れ！発熱したり体調不良の参加者もあらず無事スタート！2年の空白を経て立つキャンプ場、そこで着くなり遊び始める子ども達の様子、変わらない受付スタッフさん、キッチンスタッフさん…あらゆる景色に胸が一杯になりつつ、最初の礼拝が始まりました。賛美をしながら、この2年の間に天に召されてここにいない兄弟の不在もまた強く感じて違う意味で胸が一杯になってしまいました。イエス様の横で一糸着に賛美しながらギターをかきならしてくれてたらいいな、そんなことも想いながら。今までのキャンプと違って、グループタイムがなかったり食事は家族ごとで黙食だったり、でしたが、それでもとても楽しくて恵みがあふれる時でした。普通のことや普通にできない、そんな不自由さや苦しさを味わった2年だからこそ、恵みや喜びを深く味わえたようにも思います。川遊びでは大人もはっちゃけ大はしゃぎ、芸能大会では大笑い。「喜び踊る」というテーマのキャンプでしたが、最後の礼拝では喜びがあふれすぎ、皆各々にリミッターが外れ、賛美ロックフェス状態！ある意味第三者から見たら「ヤバい」光景だったでしょうが、イスラエルの人達がよく喜びを踊りや歌で表現してきたように、南米などの礼拝では全身使って賛美をするのが普通のように、嬉しい楽しい、感謝、があふれると自然と体が重たくなり、踊るのだ！と実感しました。神様はそんなありのままの姿を喜んで下さるに違いないのです。人の目を気にするのではなく、ただ神様を見上げて心からの賛美を捧げたい！と思ったのでした。🎸🎶

まきばでひとやすみ

